

**製品名: CD18 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80739**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	85kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD18
別名	LAD; MF17; LCAMB; LFA-1; ITGB2
遺伝子 ID	3689.0
SwissProt ID	P05107
免疫原	大腸菌で発現した CD18 の精製された組み換え断片。

**背景**

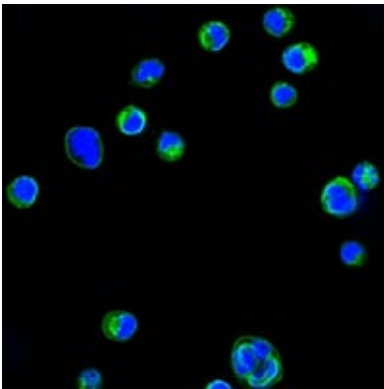
CD18はITGB2（インテグリンβ鎖β2）としても知られています。インテグリンは、α鎖とβ鎖からなる細胞表面の必須タンパク質です。特定の鎖は複数のパートナーと結合することで、異なるインテグリンを形成します。例えば、β2はαL鎖と結合してインテグ

リン LFA-1 を形成し、 $\alpha$ M 鎖と結合してインテグリン Mac-1 を形成します。インテグリンは、細胞表面を介したシグナル伝達だけでなく、細胞接着にも関与することが知られています。CD18 はほとんどの白血球に発現しています。この遺伝子の欠陥は、白血球接着不全症 I 型 (LAD1) の原因です。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする 2 つの転写産物バリエーションが同定されています。

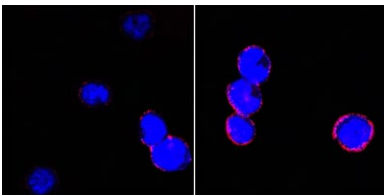
## 研究分野

-

## 画像データ



CD18 マウス mAb (緑) を用いた HL60 細胞の共焦点免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



CD18 マウス mAb (赤) を用いた BCBL-1 細胞 (左) と L1210 細胞 (右) の共焦点免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。